

平成17年5月16日

各 位

株 式 会 社 日 本 ト リ ム  
代 表 取 締 役 社 長 森 澤 紳 勝  
( 東 証 第 一 部 : 6 7 8 8 )

## 九州大学との共同研究プロジェクト に関するお知らせ

当社は、九州大学大学院農学研究院遺伝子資源工学部門細胞制御工学講座と、電解還元水研究の更なる研究開発と、ライフサイエンス分野での事業展開を目的とし、共同研究プロジェクトを立上ることを計画しておりますのでお知らせ致します。

### 記

#### 1. 当共同研究プロジェクトの目的

当社は、これまでに九州大学と共同研究により、「電解還元水の活性酸素消去能」及び、電解還元水が「抗腫瘍、抗糖尿病、抗神経疾患効果」等を持つ事を明らかにし、これらの研究成果を国内外の学会、学術誌等に発表してきました。

還元水研究は日本から世界に発信された数少ない研究の一つであり、この分野においては、これまで、九州大学と(株)日本トリムが世界をリードして参りました。

この結果、世界で「ナノ粒子、水素、活性水素」の生理学的重要性が国内外で認識されてきており、今後国際的な研究競争が広がっていくと思われるため、先んじて還元水研究の発展を飛躍的に加速するため、本プロジェクトを立上るものであります。

本共同研究プロジェクトを推進することにより、「活性水素の生体に及ぼす機能」がさらに解明されるとともに、医療分野のみならず、化粧品、食品工業、工業、農業等への利用が期待されます。そして、本共同研究プロジェクトの推進により多数の特許取得が見込め、これらを基盤に(株)日本トリムにおいて、世界規模での事業展開を目的とするものであります。

## 2. 本共同研究プロジェクトの概要

- (1)共同研究期間 平成19年3月31日までの3年間。
- (2)プロジェクト名 高度な機能を有する還元水及びその製造装置の開発と医療・産業への応用。
- (3)総研究開発費用 約3億円(3年間総額)

## 3. 業績への影響

本共同研究は、電解還元水研究の発展に寄与すること及び、当社の将来的飛躍に向け、中長期的視野にたつて上記研究開発費用の投資を計画しているものであり、当社が目的とする「日本発の技術で世界にはばたくオンリーワン企業創造」への基盤となるものであります。

業績への影響につきましては、現在の売上高の成長により利益面では十分に吸収できる範囲であり、今期におきましても、過去最高の売上高・経常利益の計上を予定致しております。

## 4. 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日本トリム 経営企画部 電話：06-6456-4633  
FAX：06-6455-3953

以上